

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成22年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療経営支援課			課長：佐藤 美幸	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条 第1項			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国立研究開発法人国立国際医療研究センターが行う業務(感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするものに係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	我が国の国際保健医療協力の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。								
実施方法	交付								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	6,317	5,732	5,779	5,815	0		
	執行額	6,317	5,732	5,779					
	執行率 (%)	100%	100%	100%					
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	100%	100%	100%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	国立研究開発法人国立国 際医療研究センター運営 費交付金	5,815							
	計	5,815	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)									
定量的な 目標	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績				
	国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、感染症その他の疾患に関する高度かつ専門的な医療、医療に係る国際協力等の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としており、これに対する定量的な目標を設定することは困難である。				国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、感染症その他の疾患に関する高度かつ専門的な医療、医療に係る国際協力等の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目標とし、26~28年度において適切に実施されている。				

成果目標の設定が困難な場合	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
									- 年度	32 年度
		国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等の適正な実施	国立国際医療研究センターが行う業務に関する独立行政法人通則法に基づく業務実績の評価  ※ 上記の指標は、中(長)期計画に示した国立国際医療研究センターが行う業務について、個別の業務ごとに適正に実施されているかを「S」～「D」の5段階で評価したものであるから、これを具体的な数値として目標値にすることは困難である。	実績	-	A	B	-	-	-
				目標値	-	B以上	B以上	B以上	-	総合評定B以上
				達成度	%	S:全体として中(長)期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。 A:全体として中(長)期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。 B:全体としておおむね中(長)期計画における所期の目標を達成していると認められる。 C:全体として中(長)期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。 D:全体として中(長)期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める。 ※個別項目の評定等を総合的に勘案した総合評定による評価				-
	活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
		治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む)		活動実績	件	80	87	集計中	-	-
				当初見込み	件	121	80	87	前年度以上	前年度以上
	活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
		発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的学術雑誌に掲載された科学論文)		活動実績	件	322	334	集計中	-	-
				当初見込み	件	238	322	334	前年度以上	前年度以上
	活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
		研修会受入人数		活動実績	人	4,724	4,886	集計中	-	-
				当初見込み	人	3,260	4,724	4,886	前年度以上	前年度以上
	単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
		単位当たりコスト=X/Y		単位当たりコスト	百万円	6,317	5,732	5,779	5,815	
		X:当該年度執行額 Y:当該施設数		計算式	X/Y	6,317/1	5,732/1	5,779/1	5,815/1	
政策	政策	国が医療政策として担うべき医療(政策医療)を推進すること								
		政策医療を向上・均てん化させること								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
									- 年度	- 年度
		治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む)		実績値	件	80	87	集計中	-	-
				目標値	件	121	80	87	-	前年度以上
		定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
									- 年度	- 年度
		発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的学術雑誌に掲載された科学論文)		実績値	件	322	334	集計中	-	-
				目標値	件	238	322	334	-	前年度以上
定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度		
							- 年度	- 年度		
研修会受入人数		実績値	人	4,724	4,886	集計中	-	-		
		目標値	人	3,260	4,724	4,886	-	前年度以上		

評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	定量的指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		実績値	件	16,414,068	15,776,837	集計中	-	-
	ホームページアクセス件数	目標値	件	14,863,867	16,414,068	15,776,837	-	前年度以上
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
	-	-	-	施策の進捗状況(実績)				
	-	-	-					

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

国立研究開発法人国立国際医療研究センターが行う業務(感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするものに係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進を図る。

国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費を交付することにより、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等が円滑に実施され、もって政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。

アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-				
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-
	達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-
	達成度	%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係							
-								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国立国際医療研究センターが実施する研究は、他の研究者が実施しない又はできない研究(①国民の健康に重大な影響のある疾患のうち、国として早急又は積極的に対応する必要があるという判断した研究②難治性・希少性の疾患に関する研究③中長期に渡って継続的に実施する必要がある疫学的なコホート研究や、専門領域における相当数の症例の積み重ねにより明らかとなった新たな科学的知見を踏まえ、治療指針(ガイドライン等)を作成・改訂するための研究等、その成果の普及及び政策の提言につながる研究)を通じ、国との密接な連携の下、我が国の政策課題となっている感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に対する高度専門的な医療の開発及び確立、人材育成等を行っていることから、国が実施すべき事業であり、事業の優先度も高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	毎年、「独立行政法人の契約状況の点検・見直し」のフォローアップを行い、契約方法の検証をしていることが確認できているため、妥当と考える。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	

事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一定の成果・実績を上げているため、妥当と考える。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価を行っており、適正であると考えます。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	医薬品や消耗品の共同入札の実施などコスト削減に取り組んでいる。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものになっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	「事業番号114:国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費」・・・施設整備費は建物等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。 「事業番号120:国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費補助金」・・・施設整備費は医療機器等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。		
	所管府省名	事業番号	事業名			
	厚生労働省	0114	国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費補助金			
	厚生労働省	0120	国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費			
点検・改善結果	点検結果	成果実績や活動実績で一定の成果を上げており、また、上記のとおり、点検したところ、現段階では特段問題はないものとする。				
	改善の方向性	現段階では特段問題がないため、今後も成果実績や活動実績も踏まえながら、適切な運営に努めていく。				
<b>外部有識者の所見</b>						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
<b>備考</b>						
<p>平成24年度予算執行調査(事業名:独立行政法人国立高度専門医療研究センターが実施するバイオバンク整備事業)</p> <p>○指摘について</p> <p>①生体試料の収集対象疾患が限定されておらず、収集目標数も設定されていない中で、6NCが各々生体試料の収集を行っている。</p> <p>②患者を対象として類似の施策である、文科省のバイオバンクジャパンとの役割分担を明確にし、生体試料の収集対象疾患や、収集対象者を限定するなど、重複を排除することにより、経費の圧縮を図るべき。</p> <p>③費用対効果を勘案し、NCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費については、既存システムの転用、セキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発に係る経費の圧縮を図るべき。</p> <p>○対応状況について</p> <p>①・②生体試料の収集対象疾患、対象者等を限定(※)することにより、収集・集積及び解析に係る人件費等の縮減を図った。 ※約190疾患の全患者の血液・細胞組織等→手術を要する約96疾患の重症患者の細胞組織(一部血液)</p> <p>③保管生体試料のNCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費について、既存のシステムの転用及びセキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発費等の縮減を図った。</p> <p>行政刷新会議ワーキンググループ「新仕分け」(平成24年) レビューシートの事業番号(761) 事業名(国立高度専門医療研究センターにおける事業(橋渡し研究の推進、バイオバンクの整備))</p> <p>○指摘について</p> <p>「国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業」 ・・・既存の運営費交付金の中で対応できるよう事業内容を抜本的に見直す。</p> <p>○対応状況について</p> <p>・・・当初、産学官の連携、海外連携、研究所と病院の連携の3事業を実施予定だったが、指摘を踏まえ、最も新規事業展開が上記課題期待される「産学融合ラボ」構想に沿った研究課題を実施することとした。当該課題に重点的に予算配分することで、中で実施全体の経費圧縮を図った上で、既存の運営費交付金の中で対応している。</p>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	-	平成23年度	881	平成24年度	763	
平成25年度	80	平成26年度	86	平成27年度	92	
平成28年度	89					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
5,779百万円

↓  
【運営費交付金交付】  
↓

A. 国立研究開発法人  
国立国際医療研究センター  
5,779百万円

〔 国立国際医療研究センターの  
運営に必要な経費の一部  
(不採算医療、臨床研究等) 〕

【その他】  
B. 厚生労働省第二共済組合本部  
176百万円

(共済組合負担金)

【一般競争契約(最低価格)】  
G.(株)エキシジェン  
56百万円

(研究機器等費用)

【その他】  
C. 厚生労働省第二共済組合  
関東信越ブロック事務所支部

(共済組合負担金)

【その他】  
H. 新宿年金事務所  
45百万円

(社会保険料)

【一般競争契約(最低価格)】  
D. 東京電力エナジーパートナー  
(株)

(電気料)

【その他】  
I. 東京労働局  
39百万円

(労働保険料)

【一般競争契約(最低価格)等】  
E. 三協ラボサービス(株)  
66百万円

(実験動物室飼育管理業務等費用)

【随意契約(少額)】  
J. 岩井化学薬品(株)  
35百万円

(研究用材料費)

【随意契約(その他)等】  
F. タカラビルメン(株)  
58百万円

(清掃・警備等費用)

【一般競争契約(最低価格)】  
K. (株)薬研社  
33百万円

(研究用材料費)

※上記の他に、主たる用途である費用項目は以下のとおりである。(暫定)  
・人件費等 ……5,062百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立研究開発法人 国立国際医療研究センター			B.厚生労働省第二共済組合本部		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	交付金	運営費	5,779	人件費	共済組合負担金(長期、児童手当拠出金)	176
	計		5,779	計		176
	厚生労働省第二共済組合関東信越ブロック事務所支			D.東京電力エナジーパートナー(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	共済組合負担金(短期等)	124	電気料	電気料金	85
	計		124	計		85
	E.三協ラボサービス(株)			F.タカラビルメン(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	庁舎管理経費	実験動物室飼育管理経費	65	庁舎管理経費	清掃・警備等の庁舎管理経費	58
	計		65	計		58
	G.(株)エキンジェン			H.新宿年金事務所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	研究材料費	研究事業にかかる材料費等	38	人件費	社会保険料	45
研究用消耗器具備品費	研究事業にかかる消耗器具備品費	10				
研究機器保守経費	研究機器の保守・メンテナンス経費等	7				
計		55	計		45	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	8011105004456	国立国際医療研究センターの運営	5,779	運営費交付金 交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	厚生労働省第二共済組合本部	3700150000668	共済組合負担金(長期、児童手当拠出金)の支出	176	その他		-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	厚生労働省第二共済組合関東信越ブロック事務所支部	-	共済組合負担金(短期等)の支出	124	その他		-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	電気料金	85	一般競争契約 (最低価格)	4	-	



費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	I.東京労働局			J.岩井化学薬品(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	労働保険料	39	研究材料費	研究事業にかかる材料費	35
	計		39	計		35
	K.(株)薬研社			L.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	研究材料費	研究事業にかかる材料費	29			
	研究機器保守 経費	研究機器の保守・メンテナンス経費等	4			
	計		33	計		0

## 別紙3

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京労働局	-	労働保険料の支出	39	その他		-	

J

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	岩井化学薬品(株)	8010001036745	研究用材料費	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
2	(支出額 35百万円)	8010001036745	研究用材料費	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
3		8010001036745	研究用材料費	0.8	随意契約 (少額)	-	-	

K

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)薬研社	8040001007537	研究用材料費	1	一般競争契約 (最低価格)	2	-	
2	(支出額 33百万円)	8040001007537	研究用材料費	1	随意契約 (少額)		-	
3		8040001007537	研究用材料費	1	随意契約 (少額)		-	